

よんでみてオススメ絵本

「たのしい ふゆごもり」

福音館書店
作 片山 令子
絵 片山 健



森に住むこぐまとおかあさんは寒くなったある日にふゆごもりの用意を始めます。雪が降る前にたくさん食べて春まで眠るのです。ごちそうの後はおかあさんからステキなおくりものが…。

こっちも楽しんでね
城東図書館イベント
城東区新喜多東 1-1-7
06-6963-5680

水曜おたのしみ会
毎週水曜日 15:30~16:00

えほんのひろば(土曜おたのしみ会)
毎月第2土曜日 14:00~14:30

水曜日は「城東おはなしの会」、土曜日は「城東絵本の会」のみなさんによる楽しいプログラムです。

元日は年の初めを祝う日です。成人の日は、おとなになったことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝う日です。以前は1月15日でしたが、平成12年に制定されたハッピーマンデー法によって1月の第2月曜日になりました。

祝日
なんの日？

1月1日
元日
第2月曜日
成人の日

お知らせ

『わくわく城東』No.7 12月1日号でお知らせいたしました「しぎのぼるチケット」プレゼントの応募は12月8日に締切ました。当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。多数のご応募ありがとうございました。

こんなご感想をいただいています。
たくさんの励ましやご意見ありがとうございました。

城東区で開催されているイベントが載っていて、機会があれば行ってみたいと思いました。

イベントの情報やオススメ絵本の情報など、ぱっと見ただけで役立つ情報が満載なので助かってます。

子育て応援しちゃいます！
わくわく城東

発行・城東区役所 子育て支援室 06-6930-9857
編集・育児サークルシングلز team_singlez@yahoo.co.jp
協力・城東区子育て支援連絡会

No. 8
1月1日発行



謹賀新年
本年も『わくわく城東』を
よろしくお祈りします。



今からでも間に合う!? **初詣**

そもそも初詣(はつもうで)とは？

新年になって初めて神社やお寺へお参りにいくことで元旦から松の内までとされています。そうすると12月31日の大晦日から元日にかけてお参りすることは間違いなのか？と思いますが、これは「二年参り」と言い初詣の形式のひとつです。

「松の内」ってなに？

門松や松飾りを飾っておく期間を松の内と言います。本来は1月15日の小正月まででしたが、江戸で1月7日までとするようになり、1月7日までと1月15日までの地域があります。門松や松飾りは年神様がいらっしゃる目印なので、「松の内」は年神様がいらっしゃる期間とも言えます。

ということで…忙しくて初詣を諦めていた方、まだまだ間に合いますよ(*_*)

**初詣だけじゃない!?
まだまだありますお正月行事**

えべっさん

御狩神事(みかかりしんじ)と呼ばれ、毎年1月9日(宵戎)、10日(十日戎)、11日(残り福)に「恵比寿神」を祭る神社で行われます。えべっさんでは商売繁盛の縁起物として福笹を授かり、選んだ吉兆(お飾り)を福娘に結んでもらいます。関西中心の行事で、関東では見られません。

とんど焼き

毎年、小正月に行われます。(1月15日頃、一部地域では7日頃)正月飾りや書初めなどを焼くことによって、飾りについた年神様をお送りし、無病息災を祈る火祭りです。地域によって「とんど焼き」「とんどん焼き」「とんど」「左義長」など、呼び方は様々です。



12月1日に開催された
城東区わくわく子育てクリスマスコンサート
に行ってきました!!

絵本は大型スクリーンに映し出され、BGMは生演奏♪いつもとは違う絵本の世界を楽しみました。

音楽を聴こう!
木管5重奏。

ペーパーシアター、手遊び、人形劇親子でたくさん笑いました。

目の前で演奏してくれたのはなじみの曲ばかり。親子でリズムに乗って楽しめました。

たくさんのツリーがクリスマスムードを高めていました。

フルーツとピアノで絵本の世界へ



今回お話をお聞きしたのは
皇大神宮

平安朝時代末期に創祀された神社で、祭神は天照皇大神です。他に恵比寿社、小女郎稻荷社、天満宮、弁財天社、吉松彦七稻荷の五柱が祀られています。大和の源九郎稻荷、和泉の葛葉稻荷と共に、この河内の小女郎稻荷が近畿三稻荷と呼ばれています。

皇大神宮のえべっさんは

獅子舞、神楽が見られます。笹と吉兆(神札、神姿巻物、小宝)がセットになった福笹(2000円)を受けることができます。

皇大神宮のとんど焼きは

朝の5時から火を焚き上げています。お守りや手紙などを一緒に焚き上げることができます。(焚上初穂料300円~)

※プラスチック、お飾りのだいたい等焚き上げられない物がありますのでお問い合わせください。※受付時間は午前7時~正午までです。時間外はご遠慮願います。

詳細は皇大神宮に直接お問い合わせください。

日本は昔から「やおよろず」の神と言われ、いたるものに神様が宿っていると信じられています。そのいたるものに感謝の気持ちを持って神社に来てくだされば宗派などは関係ありません。

お問合せ 皇大神宮社務所 城東区今福南 2-12-31 ☎ 06-6931-2668